

総合的な学習の時間 呉市立天応中学校 第7学年 指導者 濱田 和宏

単元名 夢そして未来 ～絆プロジェクト～

「地域を知り、地域とつながり、みんなで防災を考える」

本単元で育成を目指す資質・能力 自主性・主体性／知識・技能／協働的な態度
／思考力・表現力／自己理解・自らへの自信

- 1 日 時 令和元年 7月30日(火)
- 2 場 所 1年A組 教室
- 3 学年・学級 第1学年A組 男子20名, 女子12名, 計32名
- 4 単元について

生徒の実態

○「授業では、課題を解決するために必要な情報を集めることができます」と肯定的に答えた生徒は79%、「授業の話合いの場面で、他の人の意見を聞くことで、考えを深めたり、広げたりしたうえで自分の考えを積極的に伝えていきます」と肯定的に答えた生徒は88%であり、ほとんどの生徒が必要な情報を集めたり、発表したりすることができている。しかしその反面、「地域行事や校外ボランティア活動に参加している」と肯定的に答えた生徒は68%であり、情報を集めたり考えて発表したりできても、実際の活動場面において約3割の生徒が十分活動できていない実態がある。

育成を目指す資質・能力の目標

- 生活の中で様々な場面で学習した言葉や技法を使うことができる。【知識・技能】
- 自分の考えを学習した知識や技能を使い、相手に分かりやすく伝えることができる。【思考力・表現力】
- 疑問や課題意識を持ち、よりよい方法で解決しようとしている。【自主性・主体性】
- 仲間と様々な思いや考えを認め合いながら、協働的に活動することができる。【協働的な態度】。
- 自分自身や自分の住んでいる地域について知ることで、将来の生き方に繋げて考えることができる。【自己理解・自らへの自信】

単元の内容について

○本中学校区の総合的な学習の時間では、9年間を通して「夢プロジェクト」と「絆プロジェクト」の二つの柱で取り組んでいる。
○第1学年の「絆プロジェクト」では地域の資源(人・もの・こと)を生かし、地域を知り、地域との絆を深めることに重点を置いた学習に取り組んでいる。その際天応地区はこれまで何度も災害に遭い、そのたびに地域の人々が協力して復興してきた歴史がある。

指導に当たって

この事実を学ぶことを通してより良い解決法を考えさせる。【課題発見】地域と連携し地域の人材を活用することで情報収集と整理・分析をさせ、さらに地域の人々への情報発信を通して、創造・表現、実行と次に向けての振り返りを行う。

5 単元の評価規準

本単元で育てようとする資質・能力	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等		
	天応地区について集めた情報や身に付けた知識・技能を探究過程に応じて活用することができる。	天応地区に住んでいる人々や自分の考えや思いをまとめ, 他者に表現することができる。	天応の抱えている問題の課題解決に向け見通しをもち, 主体的に学習に取り組もうとしている。	天応地区の課題を他者と意見交流し協働的に学習に取り組もうとしている。	自分自身や自分の住んでいる天応について知り, 将来の生き方に繋げて考えることができる。
校区で設定した育成を目指す資質・能力	知識・技能	思考力・表現力	自主性・主体性	協働的な態度	自己理解・自らへの自信

6 単元の計画 (全30時間)

次	学習内容 (時数)	評価					評価規準 (評価方法)
		知	思	自主	協	自信	
第一次 (六時間)	<p>課題の設定</p> <p>○天応について知っていることや地域の良さや改善して欲しいことについてグループで出し合う。(1h)</p> <p>課題：天応の魅力を再発見しよう</p>	○					<p>・天応の魅力や人々が困っていることなど, 地域の特性を理解している。(行動観察)</p>
	<p>情報収集</p> <p>○天応の産業や地域のお祭りなどの文化, 歴史について調べる。 ○資料から天応の人口の推移や地域の事業所を調べることで, 地域が少子高齢化している現状を知る。(1h)</p>			○			<p>・図書室やパソコン室を利用して情報を収集する。(ワークシート) ・天応の発展と人々の暮らしを理解している。(ワークシート)</p>
	<p>整理・分析</p> <p>○郷土研究者を招聘し, 歴史や災害について学ぶ中で, 大きな災害が7回起きている事を知る。 ○防災についての学習や行事から, 必要な情報を整理・分析をする。(2h)</p>		○				<p>・話を聞いて天応に対する思いや願い, これからについて考えている。(ワークシート, 行動観察) ・今後も大きな災害が起きることを想定した行動について考えている。(ワークシート)</p>

	<p>創造・表現</p> <p>○各自やグループで考えたことをもとに、地域で取り組むべき課題を見つけ出し、グループでまとめる。(1h)</p>						○	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組むべき課題を見だし、主体的に取り組んでいる。(ワークシート) 	
	<p>実行・振り返り</p> <p>○グループでまとめたことを、クラス全体で交流する。</p> <p>○地域の現状や課題を明確にし、整理する。(1h)</p>						○	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習成果を、根拠を示しながらクラスで共有し合っている。(ワークシート, 行動観察) ・天応に住んでいる人の願いや課題に気付いている。(ワークシート) 	
第二 次 (十 時 間)	<p>課題の設定 (1h)(本時1/2h)</p> <p>○一次で考えたことをもとに、地域にできないか話し合う。</p>						○	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきたことを活用して他者に表現している。(ワークシート) 	
	<p>課題：天応のために自分たちにできることを考えよう。</p>								
	<p>情報収集 (2h)</p> <p>○地域の方とのつながりやふれ合いをするために必要な情報を集める。</p>						○	<ul style="list-style-type: none"> ・天応の発展に貢献してきた方々へできることを考えている。(ワークシート) 	
	<p>整理・分析</p> <p><予想される活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と交流する ・地域の活動に参加する <p>○地域の方と一緒に「郷土料理づくり」に必要なものや交流の方法を考える。(1h)</p>						○	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組むべき課題を見だし、主体的に取り組んでいる。(行動観察) 	
	<p>創造・表現</p> <p>○交流活動が効果的になるよう、交流に必要な準備を考える。(2h)</p>							○	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで協働的に学習に取り組んでいる。(行動観察)
	<p>実行・振り返り</p> <p>○地域の方にアドバイスをいただきながら一緒に「郷土料理づくり」を行い交流する。</p> <p>○「郷土料理づくり」での交流を通して、得たものや地域に返せるものは何かを振り返る。(4h)</p>						○	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や児童委員の方々と地域への思いや願いを交流している。(行動観察) ・人々の思いや願いに気づき考えをまとめている。(ワークシート) 	

第三次 (十四時間)	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 5px; display: inline-block;">課題の設定</div> <p>○第一次，第二次を振り返り，地域の施設にお年寄りに関する施設が多くあることに気付くとともに，天応は昔から災害が起こっており，お年寄りや地域の方に防災や減災の意識を高めるアピールをどのようにすれば良いかを考える。(1h)</p>		○				<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が未だに平成30年7月豪雨災害に苦しんでいることに気付いている。 ・災害の教訓を生かすために具体的に何ができるかを考えている。(ワークシート)
	課題：お年寄りや地域の人を災害から守るためにできることを実行しよう						
	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 5px; display: inline-block;">情報収集</div> <p>○地域の施設を調べる <予想される活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設に慰問に行く ・プレゼントを作って渡す <p>(コスモス園デイサービスセンター，通所介護施設，訪問看護，天応いきいきサロン 等) (2h)</p>		○				<ul style="list-style-type: none"> ・地域について再度見直しを行い，どのような取組ができるか考えている。(行動観察)
	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 5px; display: inline-block;">整理・分析</div> <p>○地域の施設に慰問に行き，お年寄りの方とのふれ合いの中で，防災や減災について考えてもらう。(3h)</p>				○		<ul style="list-style-type: none"> ・グループで協働的に学習に取り組んでいる。(行動観察)
	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 5px; display: inline-block;">創造・表現</div> <p>○慰問が効果的になるよう，慰問に必要な準備を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災クイズ ・歌や紙芝居 ほか(4h) 				○		<ul style="list-style-type: none"> ・取り組むべき課題を見だし，主体的に取り組んでいる。(行動観察)
<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; border-radius: 5px; display: inline-block;">実行・振り返り</div> <p>○グループに分かれて各施設に慰問に行き，お年寄りの方々と交流する。また地域の方には文化祭を利用して，自分たちの思いや願いを伝える。</p> <p>○各施設や文化祭でアンケートを行い，振り返りを行う。(4h)</p>	○	○				<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの思いや願いを相手に伝わりやすい表現や方法で伝えている。(行動観察) ○ 天応に誇りをもち，自ら地域にできることを考えている。(ワークシート) 	

7 本時の展開 (本時. 7 / 30)

(1) 本時の目標

○天応に住む人々に貢献するために、集めた情報を活用して、自分の考えや思いをまとめ、他者に表現することができる。【思考力・表現力】

(2) 本時の展開

学 習 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の活動 ○ 期待する生徒の姿 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 指導上の留意事項 ◎ 評価規準 (★資質・能力) ◆ 「努力を要する」状況と判断される生徒への手立て ☆ 他教科との関連
<p>1 これまでに学んだことを振り返る。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のめあて 天応のために自分たちにできることを考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次で学習したことを確認する。 ○ 郷土研究者の資料や話を思い出す。 ○ 防災学習の体験を考える。 	
<p>3 地域の人々とのつながりについて考える。(個人思考)</p> <p>4 個人で天応に住む人々に貢献できることを考え、それをグループで話し合う。</p> <p>5 グループで話し合ったことをクラス全体で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々に支えられて生活できていることを考えさせる。 ・ 話し合いが深まるようグループに助言する。 ○ 集めた情報を根拠に話し合う。 ○ 黒板にホワイトボードを掲示し具体的に例を挙げながら説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ あいさつ運動をはじめ、日々生活する時にどんな人と関わりがあるか考えさせる。(ワークシート) ◇ ホワイトボードには、グループの考えを簡潔にまとめさせる。 ◎ 思考力・表現力 天応に住む人々に貢献するために、集めた情報を活用して、自分の考えや思いをまとめ、他者に表現している。
<p>6 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りシートを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 資質・能力を意識しながら振り返りシートを記入させる。
<p>生徒のまとめの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループの発表を聴きこのことが地域のためになるかどうか考える。 ・ 今後その課題をするために必要な条件を情報収集する。 		

8 板書計画

めあて 天応のために自分たちにできることを考えよう。

これまでに学んだことを振り返る。

各グループのホワイトボードを貼る

まとめ

○ 単元で育成を目指す資質・能力に係る成果と課題

成果

- ・天応の歴史や文化を研究されている郷土史研究家の方から、資料を参考にしながらの説明を受けることは、天応の成り立ちやこれまで受けてきた災害、地域に根付いている祭りや文化を知ること、災害から地域を守るために何ができ、自分たちが何を受け継いでいくことが大切なのかを考えることができた。【自己理解・自らへの自信】
- ・事後の自己評価アンケートで「地域の方と自分から進んで話や交流し関わりをもつ」ことに関し、「よく当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が、第1次の地域の方々の「郷土料理づくり」では34.4%であったが、第2次のお年寄りや地域の方への慰問活動「地域訪問」では71.9%に上昇した。これは生徒が天応の課題を知り見通しをもって主体的に関わる学習や活動を通して整理・分析をする中で、今後取り組むことを生徒自身が主体的に考えた成果であると考え。【知識・技能】【自主性・主体性】
- ・文化祭での発表では、体験や活動を通して集めた情報を他者と協働しながらまとめ、地域の方々や生徒に発表できた。さらに平成30年度豪雨災害での経験を生かした「防災クイズ」や逃げる時には周りの家にも声をかける「共助」の大切さを、生徒自身の言葉で伝えるなど、目的意識・相手意識を明確にした表現の場となった。【思考力・表現力】【協働的な態度】

課題

- ・小中9年間で継続的に見通しをもった計画ができていない。現在、防災教育を柱としたカリキュラムマップを作成中である。
- ・地域にどのような技能をもった外部人材が在住され、どのように活用できるかのデータベースがないため、その都度知り合いを通じて依頼をしている。また、そのために多くの時間を費やさなければならない。